片桐英数塾通信

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

明るく楽しく前向きに！

変わるなら、変わって しまおう、自分から!!

戦後も今年で七十五年。それにしても七十五年……。長い年月です。毎年八月になると「戦後」という言葉をよく耳にしますので、何となく「今は戦後なんだな」と思ってしまうのですが、よくよく考えてみると「戦前」や「戦時中」を知っている人なんて、本当に少なくなってしまった今の時代に、「戦後」と言われてもピンとこないのが正直なところではないだろうか、と思ってしまいます。

今となればうそのようなお話ですが、この国は大きな戦争をしました。何と相手はアメリカです。びっくりです。「何でそんな無謀なことを……」と思ってしまいます。その時代に生きていた人でなければ、戦争に突き進んで行ったときの、「国民の心理」であるとか、「世の中の空気」などは分かりません。ただ、話はちょっとそれますが、新型コロナウイルスの感染拡大により生まれたギスギスとした「空気」は、もしかすると当時の「空気」と似通っている部分があったのかもしれない、と思っています。もちろん、戦争と新型コロナウイルスを比較するのが適当かどうかは別として……。

直接戦争を経験したわけではありませんが、それでも戦争が悲惨であることくらいは、わたしにもわかります。戦時中の写真を見ても、その惨状に目を覆いたくなるような写真も数多くありますので。「戦争」という、人の死が当たり前にすぐそこにある異常な時代……。そこから生み出される感情は、憎しみや悲しみだけだったと思います。終戦となり戦争が終わり、後には憎しみ、悲しみだけが取り残された。そこから始まったのが戦後の七十五年です。

戦後の焼け野原。憎んでいても悲しんでいても生きていくことはできません。そこから力強く、もう一度盛り返そうと頑張ったのが、戦争で傷ついた人たちでした。その人たちの頑張りにより、経済が豊かになりました。そして「こうやれば世界で生きていける」というものが生まれ、それに合わせた価値基準ができて、定着してきたのが戦後七十五年の今だと思います。

ところが、近年、戦後七十五年間やってきたやり方では通用しなくなってきました。特に、ここ数年は、それを強く感じますし、特に今年は新型コロナウイルスもあり、それが今年、決定的に露呈してしまったように思います。もう、これまでのシステムは限界にきています。

今後、これからの時代に合う新しいシステムに変わっていかなければなりません。いろいろなところで、新しいシステムへの変化は起きると思います。わたしたちはその変化についていかなければなりません。

身近なところで言いますと、受験でも新しいシステムへと変化します。来年の一月に初めて行われる共通テストがそうです。共通テストの中でも、特に英語は大きく変化します。何と言ってもリスニングがこれまでとは大きく変わります。しかし、配点比の調整があり、リーディング：リスニング＝四：一の大学も割と多くあるのですが、そのような大学の場合、リーディングの一点は四倍され四点に相当することになってしまいます。ついついリスニングに目が行きますが、リーディングの力をつけ、しっかりと読解できなければ得点できないと思います。

それとリスニングについてですが、「どうやったらうまく聞き取れるようになるの？」と悩んでいる人は多いと思います。まことしやかに「突然聞き取れるようになった！」という宣伝文句の教材もあるようですが、「英語をうまく聞き取れるようになる」というのは、実は、大人、子ども関係なく、英語学習者の永遠の課題だと思います。努力を続けていれば聞き取る力はつきますが、努力をやめるとすぐに力は弱くなります。努力以外に解決策はありません。

聞き取る力をつける努力。これについて、先日、わたしの姉と話しました。姉は昔、十一年間アメリカで生活していたことがあり、今はとある企業の通訳をしています。その姉が先日、興味深いことを言っていました。「自分の話せない音を聞き取ることはできない。聞き取る力をつけるなら、発音に注意しながらたくさんしゃべるのがよい」と。姉曰(いわ)く、「それができるようになると、洋画をほぼ聞き取れる」とも言っていました。「しゃべることが聞き取ることへの近道」。すごく納得しました。

しかし、しゃべる練習をどうするか？ CDなど、英語の音源を聞き、それをまねして練習する。できることと言えばそれくらい。それに余程、注意して音を聞き取らないと音をまねすることもできない。もちろん、英語の発音の基本が分かっていないと、聞き取った音の出し方も分からないので、まず英語の音の基本を知ることから始めなければなりません。もっと言うと、口や口の周りの筋肉の使い方も覚えておくべきだと思います。

この八月。当塾ではオンライン英会話を導入しました。八月に関しては体験ということで、「こどもえいご」を受講している小学生、夏期講習に参加している中学生に一回だけ体験してもらいました。オンライン英会話の講師は、フィリピンの現地の講師です。フィリピンの公用語は英語ですので、紛れもなくネイティブスピーカーです。

その講義を見ていて思ったのが、発音の指摘はネイティブスピーカーならではで的確です。わたしが見ていた中で指摘されていたのは「wh」の発音、「アー」の発音（いろんな種類があります）、「th」の発音、「子音と母音」、「Rの発音」まだまだありますが、「こりゃ発音を覚えるのにいいな」と思ってしまいました。横で講義を見ていたわたしまで、随分と発音の勉強になりました。

「オンライン英会話を必須にしたけど泣く子もいるかもしれんな」と思っていましたが、結局、泣き出したりする子は一人もいませんでした。むしろみんな笑顔でしたし、追加して受講する子もいたほどです。「また受けたい」という子も多かったところを見ると、どうやら楽しかったようです。

今月号は、戦争のことやら共通テストこのことやらオンライン英会話のことやら、いろんなことを書きました。とりとめもなく書き綴りましたが、言いたいことはただ一つ「変化」です。

「変化」だらけの世の中ですが、幸いながら、昔に比べて利用できる便利なものは増えています。変わろうと思えばいろいろあると思います。利用できるものは利用して、自分から自分を変えていきましょう。

P.S. オンライン英会話は高校生も受講できます。

オンライン英会話受講生募集!!

☆楽しむために英語を学ぼう☆

「自分の英語って大丈夫？」これはみんなが思うことです。それには実際に英語を使って生活している人に聞いてもらうのが一番です。ですが、わざわざ海外留学をしなくても、わざわざ特別にどこかに学びに行かなくても、片桐塾でオンライン英会話を受講すれば、気楽にそれができてしまいます。発音の勉強になりますし、実際に英語で話せるので、何より、英語がもっともっと楽しくなって好きになります。英語が楽しく好きになると、試験や受験や英検でも自然と結果がついてきます。中学生は教科書準拠の教材を使ってスピーキングレッスンができる他、英検対策、英検二次面接トレーニングも可能です。お気軽にご相談ください。

初回体験料 １,１００円（税込） **受講料**：１レッスン２５分 １,６５０円（税込）月１回から受講可能

映像授業で伸ばす！

体験受講・受講相談 随時受付中！！

『受験勉強の出遅れを挽回したい。』『志望校を妥協したくない！』という皆さん、映像授業を活用して志望校合格を目指そう！ポイントを絞り込んだ映像授業なら短期間での速習受講も可能。高１・高２生も早めの受験対策を！

～受講生の声～

- 大学別の個別の対策映像は本当に本番役立った。点数が伸びると思う。（M・Sさん）
- アットウィルは時間内なら何教科でも見られるし、分野も沢山あり、選べるので自分の苦手なところを中心に見ることができるので良かった。（Y・Yさん）
- 学校で教わってきたのとは少し違った切り口からの授業があって勉強になった。アットウィルは１つの分野を選択して受講できるので、すごく力になると思う。特に英語長文読解～英文をスイスイ読む技術～は役立った。（R・Tくん）
- アットウィルでセンター試験の解き方のコツをつかむことができました。かなり良かったです。センター本番でやっと目標点を突破できました。（I・Rさん）

片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の9月のお休みは、9月6日(日)、13(日)、20日(日)、27日(日)です。

休日は自習開放もしておりませんのでご注意ください。

塾スタッフ募集中！

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともにご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

塾生の皆さんＬＩＮＥ登録をお願いします。

HPｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com

塾生の皆さんで LINE 登録がまだの方は、こちらのＱＲコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などＬＩＮＥでいつでも受付けています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

Copyright © 片桐英数塾. All Rights Reserved.